

<令和7年8月定例記者会見>

1 開催日時

令和7年8月7日（木）午前10時30分～午前10時45分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、河北新報社、読売新聞社、岩手日報社

4 発表事項

(1) 「滝祭2025 (TAKI-SAI)」の開催について（観光物産課）

「滝沢市産業まつり」並びに「滝沢市商工会まつり」の共同イベント「滝祭」を8月30日（土）、31日（日）の両日、ビッグルーフ滝沢を会場に開催いたします。

滝沢市内の美味しいものを集めた「飲食コーナー」、高所作業車や自動運転車両などの「体験コーナー」やステージイベントなど、お楽しみいただける催しが盛り沢山です。

30日（土）19:00からは皆様からのご協賛で、花火の打ち上げを行う予定です。

現在も、盛大な花火打ち上げのために皆様からの協賛金を募っております。

8月30日（土）、31日（日）の2日間は、「滝祭2025 (TAKI-SAI)」へ、足をお運びくださいますようお願いいたします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(2) 小岩井駅舎の国登録有形文化財（建造物）登録について（都市政策課、文化振興課）

このたび、令和7年8月6日に国の官報告示があり、3月21日に国の文化審議会により答申がされておりましたJR田沢湖線小岩井駅の駅舎が、滝沢市初となる国登録有形文化財（建造物）となりましたのでご報告いたします。

本文化財は、JR東日本管内の現駅舎としても初の登録となり、県内の国登録有形文化財（建造物）としては、109件目の登録となります。

この登録を記念いたしまして、令和7年10月4日（土）に市主催の登録記念式典及び周知・利用促進イベントを開催する予定です。詳細については後日別途ご案内いたしますので、取材方よろしくようお願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：滝祭が始まったのは、チラシにあるとおり1982年からということでしょうか。

観光物産課長：滝沢市産業まつりという名称でスタートし、平成29年から滝沢市商工会まつりと合同開催となりました。平成30年度からは、より親しみやすくなるように、「滝祭」という名称になりました。

記者：「滝祭」としては今年で何年目になるのでしょうか。コロナ禍も開催していたのですか。

観光物産課長：「滝祭」としては今年で7年目です。コロナ禍でも、検温等を行うなどして継続開催していました。

記者：打上花火の協賛金募集については、毎年募集しているのでしょうか。

観光物産課長：そうです。市内の事業所から協賛金をいただいております。また、一般

の方からもぜひ協賛いただきたいということで、お声掛けしているものです。

記者：今年から始めたものではないということでしょうか。

経済産業部長：毎年、企業の協賛で行ってききましたが、ここ数年の物価高騰などで企業自体も厳しい状況に立たされ、花火の値段も高騰しています。その中で、滝沢の花火を企業だけではなくて様々な方々と一緒に盛り上げていきたいということで、昨年からは一般の方にもお願いをしながら募集しているということです。

記者：全国の各地域で有料席を置いたりしているように、花火大会自体を運営する資金が不足しているために募集しているイメージでしょうか。

経済産業部長：そうです。あるところでは中止になってしまったり、様々な状況もある中で、今まで企業にお願いしながら打ち上げておりましたが、滝沢の花火ということで、様々な方々に協力いただきたいということで昨年からは募集しているということです。

記者：クラウドファンディングとは別もののでしょうか。

観光物産長：そうです。市内に花火事業者があることもあり、協賛金という形をとっています。

記者：小岩井駅について、答申時からの変更点はありますか。

都市政策課長：外に水道を開栓したということはありませんが、その他に変わった点はありません。

記者：記念式典は駅舎前で開催するのでしょうか。

都市政策課長：：そうです。予定では午前9時30分から式典を行い、午前10時から、IBCラジオを活用した「小岩井ウォーク」という、文化財のPRと鉄道を含めた公共交通の利用促進イベントを開催する予定です。詳細は後で投げ込み致します。文化財登録のプレートの到着は遅くなる見込で、12月頃に届く予定です。駅舎の前の、プレートを解説する看板は、イベント前までには設置予定です。

6 その他記者からの当日質問

記者：スイカまつりについて、水不足などの影響でスイカの生育状況に変化はありましたか。

市長：5月に雨が続き、定植作業などが遅れた時期はありましたが、天候にも恵まれ、糖度も15度を超えるようなスイカが収穫されている状況です。ただ、側枝が出ず収穫量は想定していたより多くないという話でした。ですが、品質も良く糖度も高く、歯触りのいいスイカができたと感じています。初競りでも、例年は2個で7万円が1口でしたが、今年度は2個で7万円が2口出ました。これは、市場関係者の皆さんが、熱い中頑張っている農家の皆さんの努力に応えたいという想いで対応頂けたと思っています。農家の皆さんが頑張っていて、多くの想いが込められたスイカですので、多くの皆さんに楽しんでいただければと考えています。